

総合情報メディアセンターNEWS

2026年 4月
第18巻 第1号

学術論文等の即時オープンアクセス義務化について



「オープンアクセス（Open Access: OA）」とは、学術雑誌論文等がインターネット経由で誰もが無料で閲覧可能な状態になっていることを指します。2024年2月16日に、内閣府の統合イノベーション戦略推進会議から「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」が以下のとおり示され、これによって学術論文等の即時OAが義務化されることになりました。また、「『学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針』の実施にあたっての具体的方策」やFAQも示されています。本稿では、その内容を概説します。

公的資金のうち2025年度から新たに公募を行う即時オープンアクセスの対象となる競争的研究費を受給する者（法人を含む）に対し、該当する競争的研究費による学術論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後、即時に（※）機関リポジトリ等の情報基盤への掲載を義務付ける。

※「具体的方策」において、「即時に」とは“該当する競争的研究費による学術論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後の、公開禁止期間（エンバゴ）がないことをいう。”とされています。また、機関リポジトリ等へ掲載するための手続きに要する期間は、“学術雑誌への掲載後3か月程度で「機関リポジトリ等の情報基盤」において公開されることが望ましい”とされています。

▼オープンアクセス義務化対象となる研究費制度

2025年度から新たに公募を行う以下の研究費制度が対象となります。

	資金配分機関	制度名
1	日本学術振興会：JSPS	科学研究費助成事業
2	科学技術振興機構：JST	戦略的創造研究推進事業（一部を除く）
3	科学技術振興機構：JST	創発的研究支援事業
4	日本医療研究開発機構：AMED	戦略的創造研究推進事業（革新的先端研究開発支援事業）

▼オープンアクセス義務化対象となる成果物

- 学術論文：電子ジャーナルに掲載された査読済みの研究論文（著者最終稿含む）
- 根拠データ：掲載電子ジャーナルの執筆要領、出版規程等において、透明性や再現性確保の観点から必要とされ、公表が求められる研究データ

▼学術論文及び研究データの公開場所

「具体的方策」では、所属する機関において機関リポジトリが整備されている場合は、原則として、当該機関リポジトリにおいて学術論文及び根拠データを掲載することとされています。本学所属の方は、「群馬大学リポジトリ」にて公開することで、「基本方針」で求められているOA義務化に対応することができます。

<参考>

- 学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針（内閣府統合イノベーション戦略推進会議決定 2024年2月16日）
https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_240216.pdf
- 「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」の実施にあたっての具体的方策（関係府省申合せ 2024年10月8日改定）
https://www8.cao.go.jp/cstp/openscience/r6_0221/hosaku.pdf
- 学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針、及び学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針の実施にあたっての具体的方策に関するFAQ（2024年10月8日更新）
https://www8.cao.go.jp/cstp/oa_houshin_faq.pdf

▼学術論文のOA化

学術論文をオープンアクセス（OA）にするには、主に2通りの方法があります。

論文の著者最終稿を群馬大学リポジトリで公開する：グリーンOA

群馬大学に所属する研究者は、「群馬大学リポジトリ」へ著者最終稿ファイルを掲載することで、無料で研究論文をオープンアクセスにすることができます。リポジトリでは、掲載元雑誌の書誌やDOIなどの情報も記録します。

出版社サイトでオープンアクセス論文を公開する：ゴールドOA

電子ジャーナルの出版社へオープンアクセス論文掲載料（Article Processing Charge：APC）を支払うことで、研究論文をオープンアクセスにすることができます。「基本方針」は、グリーンOAを想定したものですが、ゴールドOAでの公開も認められています。

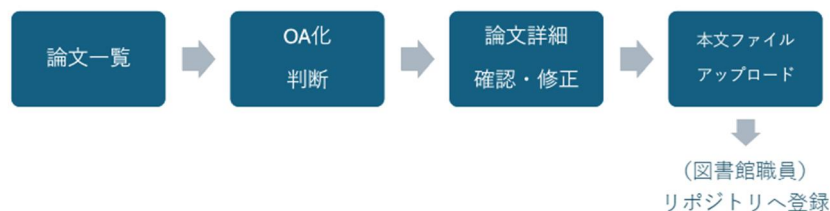
▼研究データのOA化

群馬大学の研究者は、研究データを非公開で安全な環境下で保存・管理・共有するための基盤として、国立情報学研究所（NII）が提供する研究データ管理システム「GakuNin RDM」をご利用いただけます。研究データの保存だけでなく、研究プロジェクトの共同研究者とのデータ共有、メタデータの付与、研究公正のための証跡管理など、研究データや関連資料の管理に必要な機能を提供しています。将来的には、GakuNin RDMに登録された研究データを選択して「公開」設定を行うことで、「群馬大学リポジトリ」へ連携し、特定の研究データのみ公開できるようになります（実装準備中）。

▼OA支援システム

総合情報メディアセンター（図書館）では、論文の即時OA化（＝群馬大学リポジトリへの論文ファイル登録・公開）を一元管理する「OA支援システム」を茨城大学と協同して構築しました。本システムでは、研究者ごとにログインした画面にCiNii Research、Web of Science、researchmapから自動的に取り込まれた論文一覧が表示され、そこへ論文ファイル（著者最終稿）をアップロードすることができます。そのデータを図書館が収集して、群馬大学リポジトリへ論文データを登録します。研究者は、自身の論文一覧からOA化済みか未対応かも一覧で確認することができます。

現在は、一部の方を対象に試行運用を行いながら公開に向けた準備を進めています。公開の際は、学部等にて説明会を行い、利用方法についてご案内する予定です。



企画展示「応援！春の新生活」

中央図書館では、4月から新生活を迎える皆さんに向けて、新しい日々役立つ図書を展示します。新しい環境や生活の変化に、不安や戸惑いを感じている方も多いのではないのでしょうか。そこで、群馬県のこと、一人暮らしのコツ、ストレス対策など、さまざまなテーマの本を用意しました。皆さんが新しい生活を前向きにスタートするためのヒントを見つけていただければ幸いです。

また、本展示では、日々の暮ら

しを見直したり、新しいことに挑戦したりするきっかけとなる本も紹介しています。忙しい毎日の合間に、ふと手に取った一冊が新たな発見につながるかもしれません。新生活を迎える方はもちろん、気分をリフレッシュしたい方にもおすすめです。ぜひこの機会に中央図書館へお越しください。

【期間】

4月1日（水）～5月31日（日）

【場所】

中央図書館1Fギャラリー

—中央図書館—



（中央図書館 岡田倫瑠）

図書館利用案内クイズ「M教授と古時計」

理工学図書館では、図書館の利用方法を学べるクイズを開催中です。

「研究室にずっと動いていない古時計があります。教授に聞いたところ歯車を動かしてみないかと言われて・・・。」

古時計を動かすヒントを探して図書館館内を巡ります。全てのヒントを集めて答えが分かると、図書館の利用方法もマスターしているはず。

初めて理工学図書館を利用する方、在学生、教職員、どなたでも挑戦できます。正解者は挑戦ネーム（ニック

ネーム）を館内に掲示します。この機会にぜひ、理工学図書館へお越しください。

【参加方法】

- ①図書館サービスデスク前にある問題&解答用紙を入手する。
- ②館内を回りながらクイズに挑戦。
- ③解答用紙をサービスデスクへ持っていく。

【期間】

3月30日（月）～5月2日（土）

KOMOTO知恵創造の森

（理工学図書館館内）

ー理工学図書館ー



（理工学図書館 森山沙織）

科学を読む、ふたつの視点。 「Newton」×「日経サイエンス」

医学図書館では、異なるアプローチで科学を伝える二つの雑誌『Newton』と『日経サイエンス』の比較展示を行っています。

『人体』『脳科学』『宇宙』など10の共通キーワードを軸に、図解が美しい初学者向けの『Newton』と、専門性の高い論文ベースの『日経サイエンス』を並べました。同じテーマでも、媒体によって表現がどう変わるのか。ぜひ実物を手に取って体感してください。

そのほか、関連する貸出資料も紹介しています。あらゆる医療の現場に共通する「科学の力」を、身近で頼れる副読本として再発見する機会になれば幸いです。

【期間】

3月16日（月）～5月末

【場所】

医学図書館1F ホール

ー医学図書館ー



（医学図書館 藤平政子）

企画展示「2026年4月から自転車にも青切符」

2026年4月から自転車の交通反則通告制度（青切符）が導入されます。16歳以上が取締りの対象であり、青切符を切られたら反則金を支払わなければなりません。重大事故に繋がる危険な運転を防ぐため罰則規定が整備されました。また、すべての自転車利用者へのヘルメット着用が努力義務となっています。通学に自転車を使っている方は多いのではないのでしょうか。自転車の利用について改めて

ルールを確認してみませんか。

展示場所では、うっかりやっしまいそうな危険走行による反則金例など、自らの行動を振り返りたくなる内容を掲示しています。

さらに、その他にも日常で起こりうる危険を回避するための図書も展示します。この機会に是非、図書館までお越しください。

ー理工学図書館ー

【期間】

4月6日（月）～8月10日（月）

【場所】

KOMOTO知恵創造の森

（理工学図書館）1F図書室前



（理工学図書館 森山沙織）

⚠ 全学Gmailの「迷惑メール」をご確認ください

全学Gmailで、正規のメールが「迷惑メール」に分類される事例が発生しています。Gmailの判定は機械的に行われており、完璧ではありません。重要な連絡の見落としを防ぐため、以下の対応をお願いいたします。

受信時の確認

- **定期確認**：通常の受信トレイに加え、「迷惑メール」も定期的にチェックしてください。
- **誤判定を解除**：正規のメールが分類されていた場合は、当該メールを開き「迷惑メールではない」等を選択してください。

送信時の確認（相手にブロックされないために）

- **クラウドを活用**：大容量ファイルは添付せず、大学推奨のクラウドストレージにアップロードして共有リンクをご利用ください。
- **一斉送信の最適化**：大量の宛先にはメーリングリストを利用し、既に存在しないアドレス（退職者等）はリストから削除してください。

円滑な情報共有と業務遂行のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

（情報基盤部門 北嶋友之）

⚠ Microsoftを装ったサポート詐欺にご注意ください！

パソコン操作中に突然、「ウイルスに感染しました」や「システムが破損しています」といった警告画面が表示され、大音量の警告音や音声流れる事例が報告されています。これらは「サポート詐欺」と呼ばれる偽の広告です。画面に表示された電話番号には絶対に連絡しないでください。

被害に遭わないためのポイント

- **電話をかけない**：犯人は言葉巧みに遠隔操作ソフトを入れさせ、偽の修理費として電子マネーやクレジットカード情報を要求します。
- **ブラウザを閉じる**：画面が消えない場合は [Ctrl] + [Alt] + [Del] キーを押し、タスクマネージャーからブラウザを強制終了してください。



Microsoftが警告画面で電話を求めることは一切ありません。落ち着いて無視し、群馬大学CSIRTや各地区のメディアセンターに相談しましょう。

（情報基盤部門 小田切貴志）

林耕史教授彫刻展を開催しました

ー中央図書館ー



令和8（2026）年3月末で退職された林耕史教授（共同教育学部美術教育講座）の彫刻展を2月27日（金）から3月25日（水）まで中央図書館で開催しました。彫刻家としてもご活躍の林教授による「月が眠る山」シリーズの作品8点が館内外に設置されました。

これらは、群馬県中之条町周辺の自然や伝承（有笠山の池に映る月）をイメージして制作された木彫作品シリーズ

で、原木丸太から彫出された木材と金箔銀箔を用いた大小の木柱が立ち並ぶ抽象的な彫刻作品です。3月9日（月）には、林教授によるギャラリートークと、音楽教育講座の菅生千穂准教授（クラリネット）、山崎法子准教授（ソプラノ）、伊東陽講師（ピアノ）によるライブ・セッションも実施し、多くの観覧者が彫刻と音楽が織りなす特別な空間を楽しみました。

作品の写真は公式Xにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

（中央図書館 山内可菜）



群馬大学総合情報メディアセンター

荒牧地区：前橋市荒牧町4-2
昭和地区：前橋市昭和町3-39-22
桐生地区：桐生市天神町1-5-1

TEL (027)220-7170
FAX (027)220-7184



本コンテンツは、クリエイティブ・コモンズの表示-改変禁止 3.0 ライセンスのもとでライセンスされています。

Webサイト <https://www.media.gunma-u.ac.jp/>
図書館ブログ <https://blog.media.gunma-u.ac.jp/>
X(旧Twitter)公式アカウント [@Media_Gundai](https://twitter.com/Media_Gundai)